

大平洋漁業	第三雲洋丸	一月五日	沖取作業中の勞働係	一、中村組支給の外に乗組員全員に對し一ヶ月百圓支給 二、作業手當月額水夫長四五圓、船長大工四三圓、船夫油差副船長倉庫番三七圓、石夫炊夫給仕三〇圓、見習一三圓、五〇錢支給 三、時間外作業手當一漁期八圓宛
山本商事	春晴丸	五月二日	機部一名増員要求	貫徹
小川合名	大正丸	五月八日	沖取作業中の勞働係	一、食料金割増一ヶ月全員に六〇圓 二、オーパータイム金一漁期一ヶ月八圓 三、作業手當月額水夫長四〇圓、船長三五圓、船夫油差副船長三三圓、水夫炊夫給仕二八圓、水夫見習一〇圓
小川合名	千草丸	五月八日	最低賃銀復活要求	復活
樺太汽船(扱)	三陽丸	五月十日	食料補給金及航海手當	五月一日より航海手當は樺太汽船並食料補給金は山下汽船並に支給
宮城漁業	英丸	五月廿九日	當工船作業中の勞働係	團體協約締結
新興水産(備船)	トロール船(五隻)	五月十九日	カムチャツカ出漁中の勞働係	團體協約締結
日高商行	英丸	五月廿二日	日支船員交代	宮城漁業の備船となるに際し全員を日本人船員と交代せしむ
大同漁業	東榮丸	五月廿三日	鮭樽沖船取出漁手當	團體協約締結
勘察加沖取漁業	松山丸	五月廿三日	同右	同右
白洋商船	おはいを丸	五月十六日	増員要求	水夫一名増員、首席料理人を船長に昇格せしむ
小川合名	千山丸	五月十七日	減員反對	減員せし三名を復活せしむ
廣海商事	所屬社船	三月廿二日	航海手當復活要求	昭和三年四月七日海事懇話會申合せに依る手當を四月一日に遡及して支給
國際汽船	社船全體	五月五日	増員増給及諸手當	一、霧島丸、檜城丸の二隻は甲部一等水夫一名増員、機部一等炊夫一名増員、被馬丸には甲部見習一名を廢し一等水夫一名増員、船部見習一名を廢し炊夫一名増員 二、臺灣航路には甲部一名増員夏期三ヶ月間機關部一名増員 三、首席料理人は暫らく現職のままとして給料、諸手當を水夫長並とする 四、掃除費及石炭換貨は現在支給せり、船舶掃除費は現行支給規定並にオーパータイム支給は調査の上組合と協議する事
阿部汽船	東州丸	五月廿九日	ドラム繰換算	ドラム一個につき八錢支給
小熊汽船	所屬社船	五月三十日	首席料理人待遇改善	水夫長並給料を支給
辰馬汽船	所屬社船	五月三十日	同右	同右
岩田商店	第三萬葉丸	五月卅一日	給料支拂遅延	一、五月份給料は宇部着の上必ず支拂ふ事 二、今後の給料は月末迄に必ず支拂ふ事
加能汽船	加能丸	六月八日	増員要求	機部一名増員
東北商船	大黒天丸	六月十一日	最低賃銀不實施	實施
大上汽船	十二札幌丸	六月十三日	給食料金支拂遅延	支給
本場商會	六六運丸	六月十四日	最低賃銀不實施	實施
日本サルベージ	那須丸	六月十六日	遠洋航海手當	給料の五割を手當として支給、但内三割は特別手當として支給すること
大阪商船	南米航路部	六月十四日	給仕手當	三等室付給仕に對して臨時手當として月額一人二圓支給